

1. 件名：福島第一原子力発電所における地すべりの可能性に係る面談
2. 日時：令和5年6月9日（金）13時00分～13時30分
3. 場所：原子力規制庁 6階会議室
4. 出席者

原子力規制庁 原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
正岡企画調査官、椎名係長

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 担当2名（テレビ会議システムによる出席）
福島第一原子力発電所 担当5名（テレビ会議システムによる出席）

5. 要旨

- 東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）より、福島第一原子力発電所における重要な施設の周辺斜面の安定性について、以下のとおり説明があった。
 - 第9回特定原子力施設の実施計画の審査等に係る技術会合（令和5年4月25日）で議論のあった耐震重要施設は、資料に示されている現在運用中の11施設が該当すること。
 - そのうち周辺斜面によって影響を受ける可能性がある施設は運用補助共用施設のみであること。
 - その運用補助共用施設については、事象の切迫度合い、対策工事に伴う作業員の被ばく、廃炉の取組の遅延の可能性等を考慮し、燃料を施設内の共用プールから高台への燃料搬出を優先すること。
- 原子力規制庁は、東京電力の考えは理解したが、その対応方針の妥当性については今後の技術会合で議論する旨を伝えた。
- 東京電力より、了解した旨の回答があった。

6. その他

資料：

- 耐震重要施設の周辺斜面による波及影響について

以上